

社会資本総合整備計画
多賀地区都市再生整備計画

平成27年8月28日

茨城県日立市

都市再生整備計画(第5回変更)

た が ち く
多賀地区

いばらき ひたちし
茨城県 日立市

平成27年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	日立市	地区名	多賀地区	面積	486 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

- 大目標: 安全・快適なまちづくりの推進
 目標1: 車両交通の円滑化
 目標2: 快適な歩行空間の整備
 目標3: 水害の抑制

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 多賀地区は中心市街地に次ぐ都市拠点である。
- 当市の鉱工業の発展に伴い、JR常陸多賀駅周辺には大規模工場も立地し、職住近接の市街地として早くから基盤整備が進められた。
- 工場勤務者向けの住宅団地が多数整備されたことにより、市内で一番多い管内人口を有している。
- 準用河川大川については昭和51年度から継続的に改修を進めているところであるが、これまで幾度となく水害に見舞われている。
- 都市基盤については整備後年数を経ているもの多く、リニューアルやバリアフリーへの対応が必要となっている。
- 平成14年度には日立市バリアフリー基本構想を策定し、JR常陸多賀駅周辺を重点整備地区として位置付け基本構想をとりまとめた。
- 平成17年度には日立市交通バリアフリー特定事業計画を策定し、上記基本構想に即した具体的な事業計画をとりまとめた。

課題

- 常陸多賀駅前広場は当初整備から約50年が経過して老朽化しており、改修による車両交通の円滑化やバリアフリーへの対応が必要となっている。
- 日立市交通バリアフリー特定事業計画に位置付けた道路について、歩道の改修やバリアフリーへの対応が必要となっている。
- 街路樹の老化が進んでおり、適切な更新が必要となっている。
- 河原子海岸は遊歩道が分断され歩道が無い区間があり、歩行者の安全確保が必要となっている。
- 準用河川大川はこれまで数度にわたり水害を起こしており、早期の改修が必要となっている。

将来ビジョン(中長期)

- 日立市基本計画
 - 都市機能再整備の推進として、JR常陸多賀駅周辺地区の交通バリアフリー事業を推進する
 - 水害を未然に防止するために大川の改修を計画的に進める。

- 日立市都市計画マスタープラン(部門別方針)

- <魅力と潤いのある都市づくり>
 - 常陸多賀駅周辺については、駅前広場における通過交通の排除と交通結節機能を強化していくとともに、景観的な環境整備に取り組む。
- <人にやさしい都市づくり>
 - 常陸多賀駅周辺については、人にやさしいまちづくりの重点地区としてバリアフリー事業に重点的に取り組む。
- <河川及び水路の整備>
 - 浸水の危険性がある大川の改修や調整池の整備を進める。

目標を量定化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
市道24号線の渋滞長	m	市道24号線(大学通り)の常陸多賀駅前広場入口の渋滞長	駅前広場の改修により車両の通行を円滑にし渋滞を抑える	150	H20	75	H27
歩道のバリアフリー化	施設	常陸多賀駅から点字ブロックで結ばれる、日立市交通バリアフリー特定事業計画に位置づけた目的施設の数	駅から目的施設までの特定経路・準特定経路の整備により歩道のバリアフリー化を促進し、快適な歩行空間を整備する	1	H20	9	H27
水害の抑制	戸	時間雨量50mm規模(5年確率)における浸水予想家屋数	大川の改修により水害を抑制する	50	H20	0	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(車両交通の円滑化) <ul style="list-style-type: none"> ・常陸多賀駅前広場の改修により周辺道路の渋滞を抑え、車両の通行を円滑にする。 ・道路の改修により車両の走行性を向上させる。 	常陸多賀駅前広場整備 市道24号線改修 市道4917号線外1路線(車道)改修 市道5016号線改修 市道5523号線改良 市道5253号線外1路線
整備方針2(快適な歩行空間の整備) <ul style="list-style-type: none"> ・歩道のパリアフリー化等により、快適な歩行空間を整備する。 ・老化が進んでいる街路樹を更新する。 ・遊歩道の整備により歩行者の通行の安全を確保する。 	市道4779号線改修 市道24号線改修 市道4935号線外1路線改修 市道24号線(大学通り)改修 市道4917号線外1路線(歩道)改修
整備方針3(水害の抑制) <ul style="list-style-type: none"> ・河川改修や調整池の整備等により水害の発生を抑制する。 	菩提第1調整池改築 支線大川調整池新設 大川改修(JR常磐線～千石橋) 大川改修(河口～朝日橋) 大川改修(バイパス水路)
その他	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,629.8	交付限度額	651.6	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
道路	常陸多賀駅前広場	市	直	6,700m ²	H21	H21	H21	H21	15	15	15	15	15
	市道4917号線外1路線	市	直	1,170m	H24	H27	H24	H27	130	130	130	130	130
	市道5016号線	市	直	630m	H25	H27	H25	H27	158	158	158	158	158
	市道4779号線	市	直	1,000m	H22	H23	H22	H23	86	86	86	86	86
	市道24号線	市	直	500m	H22	H24	H22	H24	69	69	69	69	69
	市道24号線(大学通り)	市	直	700m	H24	H24	H24	H24	42	42	42	42	42
	市道4935号線外1路線	市	直	260m	H24	H24	H24	H24	6	6	6	6	6
	市道5523号線	市	直	100m	H21	H23	H21	H23	33	33	33	33	33
	市道5253号線外1路線	市	直	860m	H24	H24	H24	H24	39	39	39	39	39
駐車場有効利用システム	—			—									
地域生活基盤施設	常陸多賀駅前広場	市	直	6,700m ²	H22	H23	H22	H23	284	284	284	284	284
地域防災施設	菩提第1調整池	市	直	10,000m ³	H22	H22	H22	H22	8	8	8	8	8
地域防災施設	支線大川調整池	市	直	8,400m ³	H21	H27	H21	H27	251	251	251	251	251
高質空間形成施設	市道24号線(大学通り)	市	直	700m	H23	H26	H24	H26	110	110	110	110	110
	市道4917号線外1路線	市	直	1,170m	H24	H27	H24	H27	130	130	130	130	130
高次都市施設	—			—									
既存建物活用事業	—			—									
優良建築物等整備事業													
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街のみ環境整備事業													
防災街区整備事業													
合計										1,361	1,361	1,361	1,361

26

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	大川	JR常磐線～千石橋	市	直	200m	H21	H23	H21	H23	33	33	33	33
	大川	河口～朝日橋	市	直	450m	H23	H24	H23	H24	85	85	85	85
	大川	バイパス水路	市	直	480m	H23	H27	H23	H27	150	150	150	150
事業活用調査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
まちづくり活動推進事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計										268	268	268	268

268 ...

(参考) 関連事業

都市再生整備計画の区域

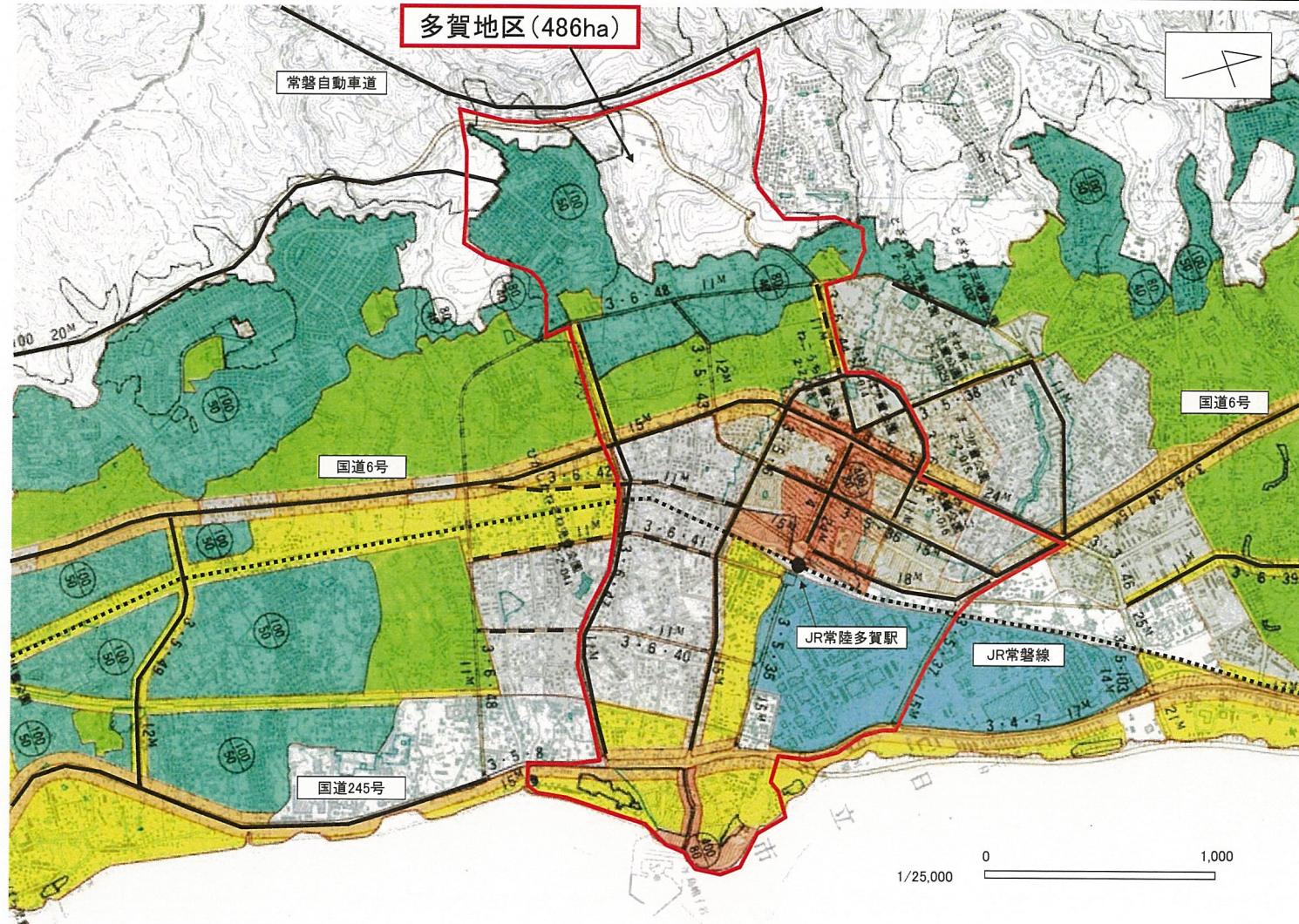
多賀地区(茨城県日立市)

面積

486 ha

区域

多賀町1・2・3・4・5丁目、千石1・2・3・4丁目、末広町1丁目、桜川町1丁目、大久保町1・2・3・4・5丁目、東多賀町1・2・3・4・5丁目、河原子町2・3・4丁目の全部及び河原子町1丁目、金沢町2丁目、塙山町1・2丁目、末広町5丁目、中丸町1丁目、大久保町、金沢町の一部



【提出様式】

まちづくり交付金の事前評価チェックシート

地方整備局名 関東 都道府県名 茨城県 市町村名 日立市 地区名 多賀地区

I. 目標の妥当性

チェック欄

①都市再生基本方針との適合等

- 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。

(該当するものに○) 1. 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 5. 観光・交流
6. アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他

- 2) 上位計画等と整合性が確保されている。

(該当するものに○) 1. 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域
4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査
7. 被災市街地 8. 中心市街地活性化計画 9. その他 (都市計画マスターplan)

②地域の課題への対応

- 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。

- 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等

- 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。

- 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。

- 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。

- 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。

- 5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。

④事業の効果

- 1) 十分な事業効果が確認されている

- 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。

III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意

- 1) まちづくりに向けた機運がある。

- 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。

- 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。

⑥円滑な事業執行の環境

- 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。

- 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。

- 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。